

## 眺望抜群の二つの山を結ぶ 奈良倉山～鶴寝山

実施日 2014年11月23日(日)

天候 晴れ

リーダー 渋谷 京子

S L 中村 友子

参加者 若村貴世子、若村勝昭、服部美千代、福島政幸、涌井良明、島本陳重、山崎富美恵、白石恵美子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、小名秀鋭、佐藤政司、瀧澤きよの、渡邊悦子 計19名

費用 JR640円(高尾起算) 乗車券2,180円

タイム 上野原駅(8:30乗)鶴峠(9:27~35)林道分岐(10:10~10:15)松姫峠分岐(10:45)奈良倉山(10:57~11:10)松姫峠(11:43~11:50)鶴寝山(12:10~12:45)山沢入りのヌタ(13:02)トチの巨樹(13:15~13:20)ワサビ田分岐(13:33)牛ノ寝分岐(13:53~14:00)モロクボ平(14:35)休(14:40~14:50)小菅の湯(15:27)

登山口となる鶴峠迄は、上野原駅発の季節運行バスで1時間を要する。しかも、4月中旬～6月上旬、9月下旬～12月上旬の土日祝日のみで本数も少ない。

登山者が多い時は臨時も出るそうで、我々19名の大パーティは定時の8時30分のバスに乗り込み一眠りする頃、鶴峠に着いた。本日は快晴無風、登山日和である。



身支度を調べ、いざ出発。

奈良倉山迄標高差500mを1時間半で登る予定だ。檜、唐松林の急坂を行く



と展望が開け、林道と交差。紅葉は僅かに葉を残し、その役目を終えようとしている。雑木林

の九十九折りを更に高度を上げると松姫峠の分岐を右に分ける。登山道脇で僅かだが、なんと初雪を観察！ 早くも冬の訪れを感じさせる。

傾斜が緩やかになると秀麗富嶽十二景の奈良倉山に到着。南側は富士山のビューポイント、真白く雄大な姿を見せている。



一気に林道迄下ると道は二手に分かれ左は林道、右手は歩道とあり、右に進む。

樹林帯を抜けると林道と合流し、まもなく松姫峠に着く。数台の駐車場の脇にはバイオトイレが設置されている。

道標に従い大菩薩峠方面に向かう。南に富士、北に雲取山を始めとする奥多摩の山並みが望める。程なく右に、春には二輪草の大群落のコースを分け、まっすぐ辿ると僅かで鶴寝山に到着。幾重にも葉を重ねた山頂は広くて明るく待ちに待

った昼食タイム、女性陣差し入れの漬け物やお総菜を美味しく頂い



た。この気遣い、細やかさにいつも感謝  
恐縮です。

ここから西に  
下る道はブナ  
の巨木が多く  
見られ快適な  
尾根道が続く。



ミズナラ、栗、朴などの落ち葉のじゅう  
たんを踏みながら晩秋の静かな山歩きを  
満喫する。



山沢入りのヌ  
タの分岐を小  
菅の湯方面に  
10分程下る  
と目の前に巨

大なトチの木が現れる。樹齢600年、  
幹廻りは7mを超えるとか、左へ回り込  
むと中は空洞で5～6人は入れそうだ。

右側が切れ  
た細道を更  
に進み、ワ  
サビ田への  
分岐を右に  
分け牛ノ寝  
通りへの急



登に取り付く。標高差は150m、かな  
り足腰に堪える。汗がジワジワ、息を整  
えながら一步一步登る。牛ノ寝の分岐で  
小休止、後は歩  
き易い下りの筈  
だった。



モロクボ平迄3  
0分の道のり、  
途中軽い気持ち

で右の小高い尾根道に向かってしまい、  
行けども合流するどころかアップダウン  
が続き、急斜面を滑るように下り皆を危  
険に晒してしまう始末。何事もなく無事で

良かったものの怖い思いをさせてしまい申し訳  
ないです。

一部の人がアド  
ベンチャーワー  
ルドを楽しんだ  
と言ってくれた  
のが唯一の救い



です。 漸く一般ルートの数名と合流し  
モロクボ平へ、分岐を田元、小菅の湯方  
面へ向かう。



緩やかな広葉樹の  
森を抜け、田元へ  
の分岐を左に分け  
ジグザグの植林帯

を下ると川辺に飛び出す。

橋を渡り案  
内板に従うと  
下山口の小菅  
の湯に到着。  
「美人の湯」で  
緊張と疲れを  
癒やし、車中人となった。



本日は予定ルートを外れるハプニング  
に見舞われたものの、晩秋の心地良い山  
歩きを堪能されたのでしょうか？ 参加さ  
れた皆様、有り難うございました。又、  
ご一緒しましょう!!

(記・渋谷 京子)  
(写真提供・涌井 良明)

